

科目群の学習・到達目標

基礎科目

- 人間科学の基礎理論及び学習方法について理解する
- ・人間科学の定義および基礎理論を身につけることで、その後の発展科目を理解するための人間科学的視点を獲得する。

人間科学概論 2 人間行動論 2

基幹科目

- 人間科学を理解するうえで必要な4分野の基礎理論を身につける。
- ・心理学の主要分野の研究成果を広く学ぶことで心理学を概観し、心理学の基礎知識を理解する。
- ・社会福祉の原理を巡る思想・哲学とその理論を理解し、欧米の歴史的展開過程と日本の福祉の比較による、我が国の社会福祉の特性を理解する。
- ・健康に関連した言説や事象について学び、自分の力で考え、判断するために必要な知識を身に付け、背景を理解する。
- ・教育についての基礎的考察を通して、人間と教育との関わりを認識し、教育学の基礎知識を理解する。

心理学概論Ⅰ 2 心理学概論Ⅱ ②

社会福祉概論Ⅰ 2 社会福祉概論Ⅱ ②

健康科学論Ⅰ 2 健康科学論Ⅱ ②

教育学概論Ⅰ 2 教育学概論Ⅱ ②

展開科目

- 人間科学における哲学、倫理学、思想学及び仏教のもつ意義や役割について理解する。

人間と哲学 ② 人間と倫理 ②

人間と思想 ② 人間と仏教 ②

- 公認心理師の役割を理解する
- ・公認心理師の役割、法的義務、倫理及び分野ごとの公認心理師の具体的な業務を理解する。

関係行政論 ②

公認心理師の職責 ②

- 心理学研究法とその分析的視点を修得する
- ・心理学における実証的研究方法、データ分析を用いた実証的な思考方法、研究倫理を理解する。
- ・心理学で用いられる統計手法及び統計に関する基礎的な知識を修得する。
- ・実験の計画を立案し心理実験を行い、実験結果を分析しレポートを作成する。
- ・性格検査、発達検査、知能検査、神経心理学的検査の代表的な検査法を、実践例も交えて理解する。
- ・心理学的支援法には、どの療法にも共通する姿勢とともに、様々なアプローチや考え方があることを理解する。

心理学統計法 ②

心理学研究法 ②

心理学実験 ② 心理学基礎実験 ②

心理的アセスメント ②

心理的アセスメント実習 ②

- 基礎心理学の知識を修得する
- ・人の感覚、知覚、認知及び思考の機序に関する知識を修得する。
- ・人格に関する様々な理論や人格をとらえるための方法について学び、自己や他者について理解する。
- ・理解や記憶のしくみ、ことばの習得における学習の機序に関する知識を修得する。
- ・心身の発達過程に関する知識を修得する。
- ・人間の脳の構造や機能について、基礎的な知識に関する知識を修得する。
- ・人間の社会の中での行動やこころの動きに関する知識を修得する。

知覚・認知心理学 ②

発達心理学 ②

学習・言語心理学 ②

社会・集団・家族心理学②

感情・人格心理学 ②

神経・生理心理学 ②

1年	
前学期	後学期

2年	
前学期	後学期

3年	
前学期	後学期

4年	
前学期	後学期

科目群の学習・到達目標	1年		2年		3年		4年		
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
<p>■応用心理学の知識を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般的に心の健康に関する幅広い知識と対処法を修得する。 健康心理学の知見とその活用についての知識を修得する。 障害者・障害児が抱える心理的・社会的困難の実際についての知識を修得する。 学校教育が抱えている諸問題を学校心理学や教育心理学的な観点から理解する。 犯罪、非行、被害者支援などに対し、どのように理解していくのか理論を学び、そこに関わる心理師の役割などを理解する。 福祉対象者を理解し心理支援するために必要な知識を学び、福祉対象者への心理支援について理解する。 産業・組織心理学の主要概念について理解する。 		健康・医療心理学 ②		教育・学校心理学 ②		臨床心理学概論 ② 障害者・障害児心理学 ② スポーツ心理学 ②		恋愛心理学 ② 司法・犯罪心理学 ② 福祉心理学 ② 産業・組織心理学 ② ストレスマネジメント ② 心理描写研究 ②	
<p>■人間の疾病と健康の機序を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害、がん、難病等の心理に関する支援が必要な疾病を理解する。 精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。)、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化及び医療機関との連携を理解する。 				人体の構造と機能及び疾病 ②				精神疾患とその治療 ②	
<p>■心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) コミュニケーション(2) 心理検査(3) 心理面接(4) 地域支援の知識技能を修得する。 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画を作成する。 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチを理解する。 多職種連携及び地域連携について理解する。 公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解する。 								心理演習(基礎) ① 心理演習(応用) ①	心理実習 ②
<p>■カウンセリングの手法を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心理支援のための基本的な理論と諸技法を修得する。 				心理学的支援法 ②					
<p>■福祉分野に関する知識を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談援助や支援に関わる知識や技術を理解する。 地域福祉の基本的な考え方を理解する。 現代社会における児童、家庭、障害者及び高齢者の支援に対する現状と課題、支援方法について理解をする。 性差別を解消するための知識や方法を理解する。 				相談援助論 ② 相談援助方法論 ② 地域福祉の理論と方法 ②		家族社会学 ②		児童に対する支援 ② 家庭に対する支援 ② 障害者に対する支援 ② 高齢者に対する支援 ②	
<p>■健康分野に関する知識を修得する</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な栄養学の知識を修得する。 健康と栄養に関する基礎知識を修得する。 スポーツに関わる事象の生理的な仕組みについて理解する。 心身ともに健康で豊かな生活をおくるための運動について理解する。 子どもや高齢者が必要な身体運動及び健康に関する基本的な捉え方を理解する。 		栄養学 ②		健康と栄養 ② スポーツ生理学 ②				健康と運動 ②	子どもの身体運動と健康 ② 高齢者の身体運動と健康 ② スポーツビジネス ②

科目群の学習・到達目標	1年		2年		3年		4年	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
■教育分野に関する知識を修得する ・教育の本質・理念を理解する。 ・学校、家庭、地域社会、職場などで営まれている学校以外の教育も含む幅広い教育事象を理解する。 ・学校制度の成立と発展、近代的学級・学年制の成立と展開、学校の社会的基盤、教育内容・方法の現在に至る変遷などの知識を修得する。 ・教育現場で生じる問題について理解を深めるとともに、一般的な支援方法について修得する。 ・児童、生徒への適切な指導・支援方法について修得する。 ・子どもの育つ力と発達について、子どもを取りまく環境の影響について理解する。 ・子どもたちをめぐる諸問題を、「子どもの人権」の側面から捉え、子どもの権利を守る方法を理解する。			教育哲学 ② 教育社会学 ② 日本の教育事情 ② 教育心理学 ②		教育相談 ② こどもの生活環境 ② こどもの権利擁護 ②			
演習科目 ■課題を発見し、解決する能力を修得する。 ・学生が主体的に研究テーマを決めた上で、討論などを通して専門的な知識を深める。		人間科学専門演習Ⅰ 1	人間科学専門演習Ⅱ 1 人間科学専門演習Ⅲ 1		人間科学専門演習Ⅳ 1 人間科学専門演習Ⅴ 1		人間科学専門演習Ⅵ 1 人間科学専門演習Ⅶ 1	
実践科目 ■体験学習についての手法を修得する ・学修テーマとなる課題設定から終了報告までを、個人又はグループで活動する。			フィールドワークⅠ(事前事後学習を含む) ③		フィールドワークⅡ(事前事後学習を含む) ③			

※表中の数字は単位数を表し、1 は必修科目、① は選択科目です。